

渋谷と玉川(現在の二子玉川)の間にある新町住宅地の位置が示されています。当時の玉川電車(現在の田園都市線渋谷～二子玉川間)の沿線の様子がわかります。

(出典等は、4面に記載)

●玉川の状況

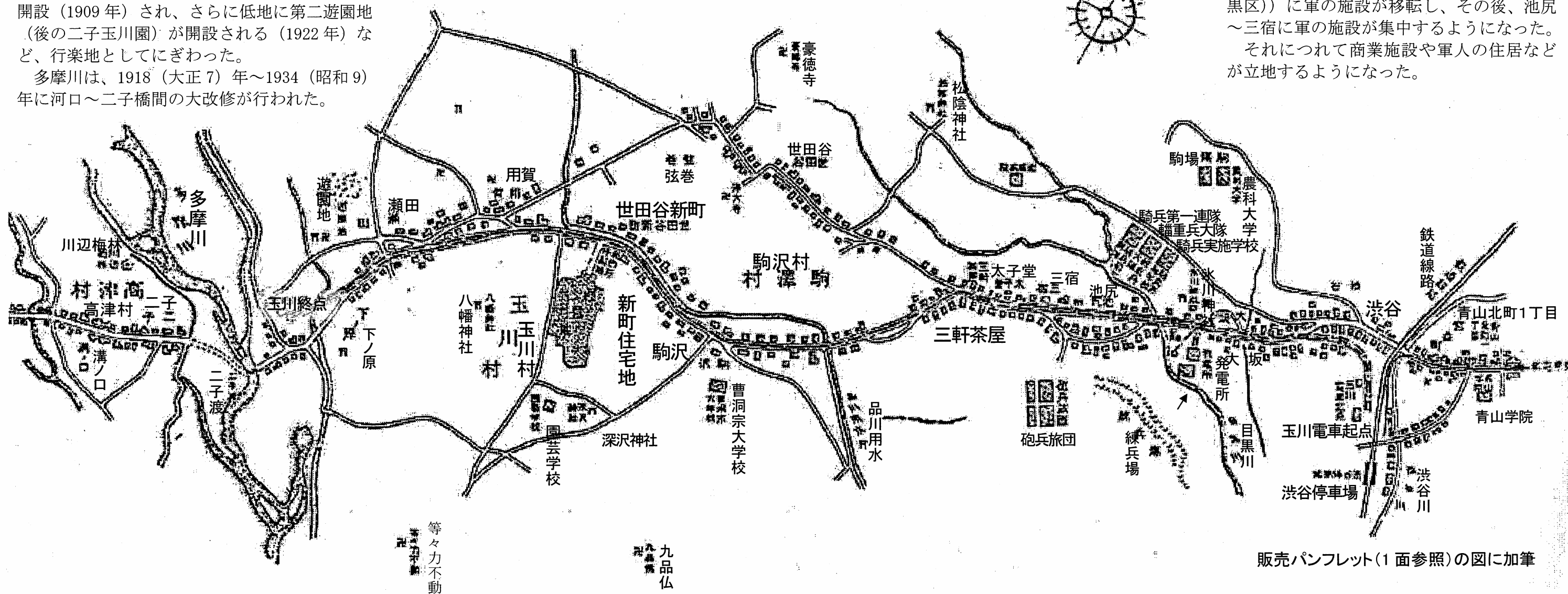
玉川電車の終点は玉川で、二子橋が架かる1925(大正14)年までは、多摩川を渡るには二子渡ふたこのわたしを利用した。

玉川は景勝地で、瀬田に近い高台に遊園地が開設(1909年)され、さらに低地に第二遊園地(後の二子玉川園)が開設される(1922年)など、行楽地としてにぎわった。

多摩川は、1918(大正7)年～1934(昭和9)年に河口～二子橋間の大改修が行われた。

經營地附近略図

經營地附近略図



●軍施設の立地

1891(明治24)年、駒場野(現在の駒場(目黒区))に軍の施設が移転し、その後、池尻～三宿に軍の施設が集中するようになった。それにつれて商業施設や軍人の住居などが立地するようになった。

販売パンフレット(1面参照)の図に加筆

●玉川電車の開通(1907(明治40)年)

東京の都市建設のための大規模な土木・建築事業に多摩川の砂利を供給するための砂利舟に代わる輸送機関として地元の有力者たちが計画、1896(明治29)年に玉川砂利電気鉄道株式会社として出願した。後に玉川電気鉄道株式会社と改称し、1903(明治36)年に正式発足したが、開通までにはさまざまな困難があった。資金面では新町住宅地を分譲した東京信託株式会社からの出資も受けてようやく1907(明治40)年に渋谷～玉川間が開通した。

開通後は、砂利輸送より旅客・貨物輸送が中心となった。景勝の地である玉川への行楽客も利用した。

新町住宅地の分譲に合わせて、新町停留所が新たに設けられた。

なお、停留所名が桜並木にちなんで桜新町に変わるの、1932(昭和7)年のことである。

●渋谷の電車状況

日本鉄道(現在のJR)渋谷駅の開業は、1885(明治17)年である。

玉川電車の開通後の1911(明治44)年には東京市電青山線が中渋谷(宮益坂下に停留所)に達した。1920(大正9)年には東京市電と玉川電車との乗り入れのため、玉川電車は軌道幅を変更した。

その後、渋谷～渋谷橋～天現寺橋の天現寺線を玉川電気鉄道株式会社が開設し乗り入れていたが、1937(昭和12)年には渋谷駅の高架化と玉電ビルの建設に伴い、市電との連絡線を撤去、天現寺線と分離された。

1927(昭和2)年東京横浜電鉄東横線、1933(昭和8)年帝都電鉄渋谷線(現在の京王電鉄井の頭線)、1938(昭和13)年東京高速鉄道(現在の東京地下鉄)渋谷～虎ノ門間がそれぞれ開業した。

1938(昭和13)年玉川電気鉄道は、東京横浜電鉄(現在の東京急行電鉄)に合併された。

1934(昭和9)年に創業した東横百貨店は、後に東急百貨店東横店東館となった。東館は、2013年3月31日閉館した。